

聴覚障害者とコンピュータ

講演会のおしらせ

2006.2.18 (土)

主催：埼玉パソコン要約筆記サークル「彩caps」

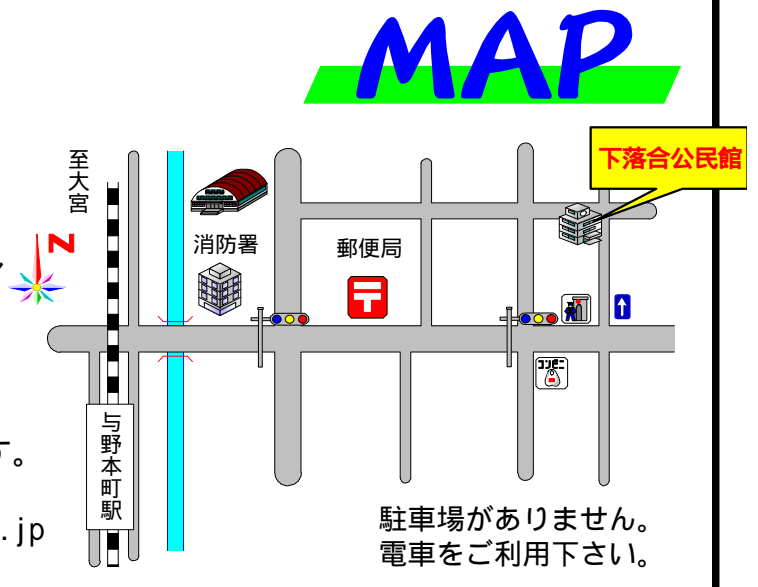
埼玉パソコン要約筆記サークル「彩caps」では、今年も、学習会を企画しました。今回は、日本聴覚障害者コンピュータ協会の創立者であり、筑波技術短期大学で長年にわたり聴覚障害者を対象にIT技術の教育・研究活動を続けてこられた長谷川洋氏に、聴覚障害者とコンピュータの関わりや、コンピュータによって、聴覚障害者の生活にどのような影響を及ぼしたか、また、今後の聴覚障害者にとって、コンピュータがどのように関わり、変化していくかなど、お話しして頂きます。

是非、お誘い合わせのうえ、お越し下さい。

テーマ 「聴覚障害者とコンピュータ」
講師 長谷川 洋 氏
日程 平成18年2月18日(土)
時間 13:30 - 16:00 (受付13:00~)
場所 さいたま市下落合公民館ホール
参加費 無料

手話通訳・パソコン要約筆記が付きます。

問合せ E-mail sai_caps@yahoo.co.jp
FAX 020-4668-7177



長谷川 洋 (はせがわ ひろし) 氏のプロフィール

[略歴]

24歳のとき(大学院修士課程2年)、風邪をこじらせて突発性難聴で失聴。17年間、補聴器を読話の補助として使っていた。41歳で完全失聴。失聴後、東大の研究所で25年間セラミックスの研究を続ける。助手、講師を経て、1991年、筑波技術短期大学電子情報学科助教授として赴任。2005年3月定年退官。日本聴覚障害者コンピュータ協会の創立者であり、筑波技術短期大学で長年にわたり聴覚障害者を対象にIT技術の教育・研究活動を続けてこられ、2005年定年退職する。

[聴障団体での活動]

みみより会の副理事長を経て、1985年に発足した東京都中失・難聴者協会での副理事長。現在相談役。中途失聴・難聴者に適した手話の研究を行った。東京都手話通訳派遣協会の運営委員(1973-1989)。1990年日本聴覚障害者コンピュータ協会を立ち上げ、会長を歴任。現在顧問として、後継者の指導を行ういながらコンピュータ用語の手話の開発を行う。ろう・難聴教育研究会(旧トータルコミュニケーション研究会)副会長。ろう教育の明日を考える全国連絡協議会副代表世話人。電気通信アクセス協議会委員。アクセシビリティ事業委員会委員。自律移動支援プロジェクト委員。

